

2015年度 第3回 農村計画本委員会 議事録

日 時：2015年11月20日（金）18:00

場 所：建築会館会議室

出席者：委員長 岡田知子

幹 事 栗原伸治、神吉紀代子（Skype）、北澤大佑（文責）

委 員 浅井秀子、後藤隆太郎、重村力、沼野夏至、三笠友洋、山崎寿一、
柳田良造

I. 確認事項

前回本委員会（9月5日）議事録を確認した。

II. 次期委員長選挙結果

- ・ 選挙管理委員より開票（10月30日）の結果、山崎寿一君が有効投票数の過半数以上を獲得したことを報告した。
- ・ 本委員会にて、山崎寿一君で次期委員長とすることを承認した。

III. 報告事項

1. 第55回（2016年度）竹中育英会建築研究助成候補募集

- ・ 農村計画分野からも積極的に応募するよう働きかける。

2. 2015年度大会（関東）関係

(1) 概要報告

- ・ 農村計画分野で講演予定者8名欠席したが、プログラムのバッティングがあったため、欠席せざるを得ない者が出てしまった事情もある。
- ・ 農村計画分野には発表登録費未納者はいない。

(2) AIJ デジタルライブラリー：研究集会資料無償公開アンケート結果

- ・ 2015年度大会研究会資料の公開にあたり、著作権の関係を確認する。

3. 2014-2015年度調査研究委員会活動報告会

- ・ 学術推進委員会より、昨年度の質疑に対する応答を催促されている。

4. 小委員会活動成果報告書の提出依頼

- ・ 各小委員会から活動報告の提出を依頼する。

5. 委員の任期（重任）・兼任数に関する状況について

- ・ 小委員会の主査・幹事を中心に重任が多いことから、次期委員会構成にあたり留意する。

IV. 審議・懇談事項

1. 推薦依頼関係

(1) 2016年日本建築学会大賞業績候補

- ・ 独自候補者を推薦せず、他の委員会の推薦状況を見る。

(2) 2017年学会賞選考委員会委員（論文部会）候補

- ・ 山崎寿一君を推薦する。

(3) 2017年日本建築学会奨励賞選考委員会委員候補

- ・ 斎尾直子君を推薦する。

2. 『東日本大震災合同調査報告』進捗状況について

- ・ 未提出分については、11月中に原稿を提出する。
- ・ 総集編の原稿依頼については後藤隆太郎君が執筆（編集）し、編集幹事（重村・三橋・岡田）が確認する。

3. 本委員会関係

(1) 2015年度大会学術講演会農村計画委員会若手優秀発表について

- ・ 農村計画分野では、下の3名を若手優秀発表とする。

講演番号	発表者	タイトル
6033	伊敷美里 君	沖縄における馬場跡の風景と使われ方の変遷過程 沖縄県南部地域の道路転用型の事例
6047	大川泰毅 君	与論島朝戸・城集落における居住環境の類型に関する研究 奄美群島の集落空間 その1
6085	八神紗良 君	民家の変遷と集落の成立・生業の関係 徳島県出羽島における民家の調査研究 その2

(2) 2016年度大会農村計画部門研究集会企画について

- ・ 農村・国土小委員会主催のパネルディスカッション「鄙へ向かう人々ー「暮らすこと」の楽しみを創るー」の実施計画が提案された。
- ・ 集落再生小委員会主催の研究協議会「震災復興から地方創生へー計画のパラダイム転換 暮らしと仲間づくり」の実施計画が提案された。
- ・ 企画書を今月中に事務局に提出する。

(3) 催し物実施報告：研究会「むらを住み継ぐカタチ#05：石巻旧十五浜一被災集落の流動的居住とその行方」

- ・ 集落居住小委員会主催により、10月31日（土）に開催した研究会が報告された。

(4) ワーキンググループ廃止申請（2件）

- ・ ルーラルネットとアジア農村フォーラムの廃止されるため、次年度以降の体制について次期委員会で審議を行う。

(5) 小委員会活動報告・計画

- ・ 集落復興小委員会：大会にて研究協議会を開催。次年度は公開研究会の開催を検討、書籍の発行も検討したい。
- ・ 農山漁村文化景観小委員会：武野でフィールドスクールを開催。次年度以降もフィールドスクールを開催し、イタリア、インドネシアなどの国際的な連携を図るプラットフォームづくりを検討する。
- ・ 農村環境小委員会：取り組みテーマを含めて今後検討する（エコロジカルか環境共生デザインなど）。
- ・ 農村・国土計画小委員会：次年度大会パネルディスカッション開催に向け検討を進める。成果をまとめた書籍の発行も検討したい。
- ・ 活動報告・計画を未提出の小委員会は、今月中に事務局に提出する。

(6) 「農村計画本委員会委員長選挙内規」について

- ・ 下の3点の内容について、内規を改定する。
- ・ 白票の扱いについては、学会会長選挙に準じる。
- ・ 内規の名称を「農村計画委員会委員長選挙内規」とする。
- ・ 投票権を有する者は本委員会委員および小委員会委員であり、かつ学会員である者とする。

(7) 「住宅系研究報告会」運営幹事について

- ・ 瀬沼頼子君（昭和女子大）、中田悟君（東京都市大学）の後任として山口秀文君（神戸大）を推薦する。

4. その他

(1) 計画系論文集投稿規定・要領関係の改定案について

- ・ 参考文献、図表のキャプションは日本語と英語を併記とすべき。
- ・ 著書に英文表記がないものは、ローマ字表記と日本語表記を併用する。

- ・ 本文のページ数が増えると著者の費用負担が増えることとなるため、最後の英文要約に文献名、注釈、図表名をリスト化してまとめて記載できるようにしたらどうか。

(2) 次回委員会について

- ・ 2月開催を目処とし、詳細な日程は後日調整して決定する。

以上